

聴覚障害

外部の音声情報を大脳へ送るための部位（外耳、中耳、内耳、聴神経）のいずれかに障害があるために、話し言葉や周囲の音が聞こえにくい、あるいは聞こえなくなっている状態のことをいいます。伝音性難聴（外耳や中耳の障害）、感音性難聴（内耳や聴神経、脳の障害）、混合性難聴、ろうなどに分けられますが、障害の種類や程度は様々で、多様な聞こえ方、聞こえにくさがあり、そのことにより困難の状況も異なってきます。

主な困難	支援例
<p>教員の発言の内容がつかめず、聞き間違いや聞き漏らしをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報保障者の配置（PCテイク、ノートテイク等） ・資料の事前配布 ・補聴器などの支援機器の利用を許可 ・教員の口元が見える座席の指定 ・授業内容の録音の許可
<p>グループワークの際に周りの学生が話している内容がつかめない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・座席やグループ分けの調整 ・発言時の挙手制など、誰が話しているか分かるようなルールの設定 ・複数人で同時に話さない ・支援機器の貸出
<p>試験や課題、予定変更に関する口答の指示を聞き逃す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項は板書や文書、メール等で伝達する
<p>映像教材やリスニング教材の音声を聞き取ることが難しい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・映像教材への字幕の挿入 ・リスニング等、聴覚を用いる授業に代替措置をする

